

## 一般会計当初予算見積額（人件費を除く。）

平成26年度	29,399,416千円
平成25年度	35,002,636千円
対前年度比増減	▲5,603,220千円 (▲16.0%)

## 基本的な考え方

生涯を通じた県民の健康づくりを推進するとともに、県民が安心して医療を受けられる環境づくりに取り組むことで、健やかで心豊かに暮らせる「日本一の健康長寿県」を目指す。

## 予算の体系

県民自らが病気を予防し、生涯健やかに暮らせる県づくり

2,396 百万円

- 母子保健医療対策の推進
  - ・母体管理の徹底
  - ・周産期医療体制の整備
  - ・健やかな子どもの成長・発達への支援
- がん対策の推進
  - ・がん予防及び早期発見の推進
  - ・がん医療の推進
- 県民の健康づくりの推進
  - ・生活習慣病予防対策の推進
  - ・薬局や薬剤師を核とした健康づくりの推進
- 疾病対策の推進
  - ・感染症対策の推進
  - ・難病対策の推進
  - ・原爆被爆者対策の推進



県民とともに医療環境を守り育てる体制づくり

25,417百万円

- 地域医療体制の確保
  - ・救急医療体制の整備
  - ・医療連携体制の構築
  - ・在宅医療の推進
  - ・へき地医療の確保
  - ・医療安全対策等の推進
  - ・高知医療センターの運営支援
- 医師等医療従事者の確保・育成
  - ・医師の育成支援・人材確保の推進
  - ・看護職員確保対策
- 医療保険制度の安定的な運営
  - ・国民健康保険の安定的な運営
  - ・後期高齢者医療制度の安定的な運営



県民の安全と安心の確保のための体制づくり

1,587 百万円

- 南海トラフ地震等災害対策の推進
  - ・災害医療救護体制の整備
  - ・医療施設耐震化等の促進
  - ・福祉保健所庁舎等の耐震化
  - ・保健衛生の体制強化
- 健康危機管理対策等の推進
  - ・新型インフルエンザ対策の推進
  - ・医薬品等の安全対策の推進
  - ・水や食品の安全・安心の確保
  - ・生活衛生対策の推進
  - ・福祉保健所等経費



母子保健医療対策の推進

(1) 母体管理の徹底

- ① 母体管理支援事業費 11,428千円
  - ・妊婦健康診査において早産徴候発見のための検査を実施
  - ・ハイリスク妊産婦、要支援妊婦へ助産師等による妊婦訪問指導、広域での妊婦教室等を開催

(2) 周産期医療体制の整備

- ① 周産期医療体制整備事業費 53,489千円
  - ・高知医療センターへのNICU入院児支援コーディネーター配置によるNICU等入院児の円滑な在宅療養移行への支援
  - ・分娩手当、NICU新生児担当医手当支給医療機関等への助成

(3) 健やかな子どもの成長・発達への支援

- ① 健やかな子どもの成長・発達支援事業費 12,594千円
  - ・【拡】市町村が実施する乳幼児健診の未受診児への受診勧奨やより有意義な健診に向けた取組等を支援
  - ・未受診児を対象とした広域健診の実施
  - ・母子保健指導者を対象とした体系的な研修の実施

安全・安心な出産環境づくりと母子保健の基盤強化



働き盛り世代の死亡率の改善

県民の健康づくりの推進

「よさこい健康プラン21」の推進

(1) 生活習慣病予防対策の推進

- ① 【新】働き盛りの健康づくり総合啓発事業 18,601千円
  - ・働き盛りの高血圧・たばこ対策等の啓発事業を統合し、より効果的に県民への啓発を実施
- ② 高血圧対策事業費 4,210千円
  - ・【新】降圧治療に取り組む医療機関と協働して、血圧コントロール率の向上を立証する事業を実施
  - ・【拡】高血圧対策サポーター企業や高知家健康づくり支援薬局による高血圧に関する啓発
- ③ 子どもの健康的な生活習慣支援事業 3,774千円
  - 子どもの頃から健康的な生活習慣を身につけるための対策
  - ・【拡】全ての小・中・高校生を対象に副読本等を作成し、健康教育を実施
  - ・教員や保護者、生徒等への講師派遣による出前講座の実施
- ④ たばこ対策事業費 2,984千円
  - ・【新】喫煙者に対し、歯科医療機関による禁煙治療の啓発・指導
  - ・【新】高知家健康づくり支援薬局による禁煙指導・禁煙補助剤の服薬支援

がん対策の推進

(1) がん予防及び早期発見の推進

- ① がん検診受診促進事業費 54,364千円
  - ・【拡】複数のがん検診を同時に実施するセット検診日の増加を図るため、市町村が、がん検診を実施する際に必要な人員を支援
  - ・【拡】住所地以外の市町村でも受診できる広域でのセット検診日を増加
- ② 肝炎対策事業費 112,174千円
  - ・【新】肝炎ウイルス陽性者で治療を開始していない人を治療につなげるため、精密検査費用等を助成
  - ・B型及びC型肝炎の感染者に対するインターフェロン治療薬等への医療費助成

(2) がん医療の推進

- ① がん医療水準向上事業費 42,947千円
  - ・がん診療連携拠点病院の機能強化に対する助成
- ② 在宅医療推進事業費 3,536千円
  - ・【新】緩和ケア研修修了者を対象としたフォローアップ研修の実施

(2) 薬局や薬剤師を核とした健康づくりの推進

- ① 健康づくり・医薬連携推進事業費 7,471千円
  - ・地域の薬局を高血圧や禁煙、検診受診などの啓発や相談が気軽に受けられる総合的な情報拠点として認定
  - ・飲み忘れなどの残薬調査を行い、薬剤師が在宅患者等の状況に応じた服薬支援などを行う「飲み残しゼロ作戦」を展開



疾病対策の推進

(1) 感染症対策の推進

- ① 【新】風しん抗体検査促進事業費 10,109千円
  - ・妊娠を希望する女性等に対し、風しん抗体検査を実施するための検査費用や正しい知識の普及を実施

地域医療体制の確保

必要な医療を受けられる体制づくり

(1) 救急医療体制の整備

- ① 救急医療対策費 408,793千円  
【新】「救急医療・広域災害情報システム」に、救急車の搬送情報や救急車内の傷病者情報を医療機関と救急隊で共有できる仕組みを導入  
・救急医療機関の適切な受診に向けた啓発  
・小児科救急勤務医師へ当直手当を支給する輪番病院に対する助成  
・小児救急患者のトリアージを担当する看護師を設置する輪番病院に対する助成
- ② ドクターヘリ運航事業費 248,970千円  
・ドクターヘリの運航経費に対する助成



(2) 医療連携体制の構築

- ① 地域医療体制等事業推進費 4,706千円  
・安芸地域における、糖尿病患者が栄養指導を受けられる地域モデルの構築  
・【新】脳卒中の医療連携体制における、維持期間係機関から回復期医療機関への医療情報をフィードバックする仕組みの構築

(3) 在宅医療の推進

- ① 地域別在宅医療推進事業費 12,714千円  
・各地域における多職種の医療、介護関係者の協働による連携体制の構築に対する助成
- ② 健康づくり・医薬連携推進事業費 534千円  
・医薬連携・セルフメディケーション推進協議会の設置及び開催  
・多職種への広報・関係職種を対象とした研修会の開催
- ③ 訪問看護体制整備支援事業費 17,858千円  
・【新】医師会や訪問看護ステーション連絡協議会を中心とした訪問看護師の派遣を行う仕組みを整備  
・訪問看護師の確保及び技術向上のための研修の実施
- ④ 医療従事者レベルアップ事業費 2,077千円  
・【新】在宅医療に係る医療従事者団体等が行う研修に対する支援



(4) へき地医療の確保

- ① へき地保健医療対策事業費 267,612千円

(5) 高知医療センターの運営支援

- ① 高知医療センター運営支援事業費 2,106,210千円

医師等医療従事者の確保

医師のキャリア形成を支える体制づくり

(1) 医師の育成支援・人材確保の推進

- ① 医師確保対策事業費 772,039千円  
・医学生や研修医への奨学資金の貸与  
・【拡】医学生・若手医師のフォローアップの充実  
キャリア形成等についての相談に対応できる人材を確保するとともに、奨学金貸与者フォローアップ管理を行うシステムを開発  
・【拡】病後児保育を実施する医療機関に対する助成  
・高知大学医学部への家庭医療学講座の設置  
・地域医療支援センターの運営



高知医療再生機構における取り組み

◇若手・中堅医師のキャリア形成支援

- ・指導医の育成及び支援
- ・若手医師のレベルアップ支援や後期研修医の確保及び資質向上支援

◇即戦力の医師確保対策

- ・赴任医師に対する研修就学金支援
- ・医療再生機構による医師の派遣
- ・県外の私立大学との連携による医師招へい
- ・「こうちの医療RYOMA大使」の設置

(2) 看護職員確保対策

- ① 看護の人づくり事業費 324,525千円  
・【新】高知の看護を考える検討委員会を設置  
・看護師や助産師を目指す学生への奨学資金の貸付  
・潜在看護職員に対する研修及び施設とのマッチングを実施  
・看護学生等に対する就職説明会の開催

医療保険制度の安定的な運営

(1) 国民健康保険の安定的な運営

- ① 国民健康保険調整交付金 4,542,125千円  
・市町村間における財政力の不均衡を調整するための支援

(2) 後期高齢者医療制度の安定的な運営

- ① 後期高齢者医療給付費負担金 10,558,605千円  
・高齢者医療の給付に対する負担



南海トラフ地震等災害対策の推進

(1) 災害医療救護体制の整備

- ① 南海地震関連災害医療対策費 247,739千円
  - ・ 医療救護体制等応急期対策の検討を行うとともに、災害時医療救護計画の見直しを行う。
  - ・ 【拡】 医療機関や市町村が行う医療救護所の設備等の整備を支援
  - ・ 【新】 災害拠点病院などに血液用保冷庫を設置し、災害時に県外などから直接血液を搬送し、必要な輸血用血液を供給できる体制を構築
- ② 電子版お薬手帳整備事業費 4,077千円
  - ・ H25年度に整備した電子版を含めたお薬手帳の普及啓発及び、利用状況調査を実施
- ④ 在宅難病等患者及び人工透析患者災害支援事業費 2,124千円
  - ・ パンフレット等を配布し、災害時の備えを啓発
  - ・ 災害時支援マニュアルを活用し、人工透析医療施設の災害対策を進めるため、ブロック検討会等を開催

(2) 医療施設耐震化等の促進

- ① 医療施設耐震化促進事業費 286,480千円
  - ・ 【拡】 医療機関が行う耐震整備に対する助成



(3) 福祉保健所庁舎等の耐震化

- ① 庁舎施設整備事業 286,262千円
  - ・ 幡多総合庁舎の耐震改修等工事
  - ・ 保健衛生総合庁舎の耐震化工事に係る実施設計委託
- ② 安芸総合庁舎整備事業費 143,547千円
  - ・ 県東部の災害救護拠点となる安芸総合庁舎自走式駐車場等の整備を実施

(4) 保健衛生の体制強化

- ① 高知県自然災害時保健活動強化事業費 1,884千円
  - ・ 「高知県南海地震時保健活動ガイドライン」を活用し、地域ごとの被害想定に沿った市町村保健活動マニュアルの策定を支援
- ② 【新】 災害歯科保健対策推進事業費 1,058千円
  - ・ 県外講師による研修会を開催するとともに、関係者による協議会において、災害時の歯科保健対策を検討
- ③ 【新】 福祉保健所南海地震対策事業費 897千円
  - ・ 「外部支援が入るまでの圏域完結型災害支援体制の整備」をすべての福祉保健所で取組を開始

健康危機管理対策等の推進



(1) 新型インフルエンザ対策の推進

- ① 新型インフルエンザ対策事業費 29,038千円
  - ・ 強毒化や新たな新型インフルエンザの発生に備えたサーベイランスの実施
  - ・ 外来協力医療機関や入院協力医療機関の資機材整備に対する助成
  - ・ 抗インフルエンザウイルス薬の購入

(2) 水や食品の安全・安心の確保

- ① 食品関連施設衛生管理高度化支援事業費 2,365千円
  - ・ HACCP手法を導入した高度な自主衛生管理施設の拡大の推進（高知県食品衛生管理認証制度及び高知県食品高度衛生管理手法認定制度の促進）
- ② 食品保健衛生費 43,530千円
  - ・ 食品の監視指導、検査

